富士宮市概算数量発注方式特記仕様書

(趣旨)

第1条 本特記仕様書は、富士宮市が発注する建設工事について、積算業務の簡素化及び効率化を図り、円滑な事業執行を促進することを目的とする。

(定義)

第2条 この要領において用いる用語の定義は、次の各号に定めるところによる。

- (1) 「概算数量発注方式」とは、当初設計の数量を概算数量により積算し、契約後、現地を実測、精査の上、設計数量の確定を行い、契約変更を行うものをいう。
- (2) 「概算数量」とは、設計図書に示した平面図及び標準横断図等の代表的な数量により算出した概算の設計数量又は詳細設計業務等の成果によらず算出した設計数量をいう。
- (3) 「工事計画図書」とは、契約後、受注者が工事施工前に施工範囲の確認、現地測量及び設計照査を行った結果をもとに作成する施工数量の根拠となる平面図（標準横断図）、構造図、展開図等の図面及び数量計算書をいう。

(実施方法)

第3条 本工事の実施方法は次のとおりとする。

- (1) 契約後、受発注者で現場立会を行い、設計意図を共有し、打合せ簿等記録し、監督員に提出する。
- (2) 受注者は、施工に必要な現地調査及び測量を行い、工事計画図書を作成し、受発注者間で事前協議する。
- (3) 監督員は、工事計画図書の内容を確認し、問題がある場合は受注者に再提出を求める。
- (4) 受注者は、監督員からの設計変更指示又は協議書に基づき工事に着手する。
- (5) 監督員は、工事計画図書及び確定設計数量に基づき、設計変更を行う。

(費用)

第4条 工事計画図書の作成に要する費用については、共通仮設費の準備費に「工事計画図書作成費」として積上げ計上している。工事計画図書の作成枚数は、設計変更の対象とする。なお、工事計画図書の作成に必要な現地調査及び測量については、共通仮設費の率分に含まれるものとし、別途計上しない。

(その他)

第5条 受注者は、本工事の実施にあたり疑義が生じた場合は、速やかに監督員と協議すること。